

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0194200044		
法人名	有限会社 M&Y		
事業所名	グループホーム 羅臼しおさい		
所在地	北海道目梨郡羅臼町湯ノ沢町14番5 (電話) 0153-87-6160		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年2月23日	評価確定日	平成22年3月5日

## 【情報提供票より】(平成22年2月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)19年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 18人, 非常勤 2人, 常勤換算	11.22人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000 円	その他の経費(月額)	8,200 円	
敷金	(有) 80,000 円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 80,000 円 無	有りの場合 償却の有無	有 / (無)	
食材料費	朝食	420 円	昼食	420 円
	夕食	420 円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

### (4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	7 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2			
年齢	平均 82.6 歳	最低	70 歳	最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	羅臼町立診療所 中標津町立病院 川上歯科医院
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは世界遺産知床という大自然の中で、クマ、鹿、シマフクロウ、キタキツネなどの野生動物をホームから見られる環境に位置しています。地域に密着したホームを目指し、昔からの馴染みのお店への買い物や地域の友人や知人がホームに気軽に来訪して戴き、以前の関係が継続出来るように支援しています。毎月の「しおさい通信」では、手書きのお便り文を添え、写真入りで行事や日常生活の様子、認知症コラムを載せ家族へ認知症の理解が進むように情報提供にも取り組んでいます。また、地域活動の一環として、高校生の体験実習やヘルパー講習の受け入れなどホームを社会見学や実習の場所として提供して、更にケアの質の向上に取り組んでいるホームです。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の外部評価での改善課題は、地域の人々を含めた防災計画や火災避難訓練の点でしたが、ホーム内に町の防災無線が設置され、年に1度、町の避難訓練に参加しています。今後は更にホームの避難訓練の際も連携協力が得られるよう検討しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は項目毎に分担して、結果をスタッフ全員で話し合い、管理者がまとめて作成しています。管理者及び職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、評価結果は真摯に受け止め、職員会議で話し合い、具体的に改善に向けて取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に取り組んでいます。主な議題についてはホームの近況報告 ホームの年間行事の参加と協力の依頼 行事参加での意見交換 防火・避難訓練の協力
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月の「しおさい通信」で、手書きのお便り文を添え、写真入りで行事や日常生活の様子、認知症コラムを載せ、家族に認知症の理解が進むように情報提供にも取り組んでいます。家族会や運営推進会議ではホームの活動や運営について話し合いが行われ、その中で意見や要望があれば全員で速やかに話し合い、結果を家族や次回の会議で報告しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域活動の一環として、高校生の体験実習やヘルパー講習の受け入れなどホームを社会見学や実習の場所として提供しています。又、地域の小学校の運動会や幼稚園の学芸会の招待もあり、三社祭り、豊漁祈願祭、知床開き、漁火祭り等の行事にも積極的に参加して地域の人々と交流することに努めています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の運営理念をもとに、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして理念を作り上げている。又、今後は職員全員で話し合い、ホーム独自の理念を作成しようとしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は職員会議やカンファレンスの際に、理念に基づいた支援が実践されているかを話し合っている。又、職員間でも、理念について話し合う機会を作り、日々、実践に向けて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域活動の一環として、高校生の体験実習やヘルパー講習を受け入れてホームを社会見学や実習の場所として提供している。又、地域の小学校の運動会や幼稚園の学芸会の招待もあり、三社祭り、豊漁祈願祭、知床開き、漁火祭り等の行事にも積極的に参加して地域の人々と交流することに努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、項目毎に分担して、結果をスタッフ全員で話し合い、管理者がまとめて作成している。管理者及び職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、評価結果は真摯に受け止め、職員会議で話し合い、具体的に改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については年6回を目安に取り組んでいる。委員は家族会会長、町内会長、女性連、包括支援センター職員、町職員、法人代表、管理者で構成され、ホームを理解して貰えるように行事の際に開催し、意見や感想を聞き、サービス向上に活かしている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の担当者とは、運営推進会議以外にも行き来する機会を作っており、ホームのクリスマス会や野外昼食会などに参加して聞き、気軽に相談や情報交換できる関係を築きサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の「しおさい通信」で、手書きのお便り文を添え、写真入りで行事や日常生活の様子、認知症コラムを載せ、家族に認知症の理解が進むように情報提供にも取り組んでいる。又、金銭出納についても添付して送付している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議ではホームの活動や運営について意見や話し合いが行われ、その中で意見や要望があれば全員で速やかに話し合い、結果を家族や次回の会議で報告している。又、家族の来訪時に本人の健康状態や生活状況についても報告されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	地域に小規模多機能のサービスを開設し、半数近くの職員の異動あったが職員や利用者が相互交流を頻繁に行い、馴染みの関係が継続出来るように支援している。又、各ユニットの交流を盛んに行い、利用者との関係を築いて不安を与えないように努め、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内で定期的に現場に即した技術的な研修会や勉強会を持ち回りで実施している。又、日本グループホーム協会やその他の研修会に積極的に参加し研修を受ける機会を設けており、外部への研修会に参加した職員は参加できなかった職員のために、研修報告会も開催されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域性もあり、同業者との交流は十分に出来ているとは言えないが、他のグループホームやデイサービスの実習や研修の受け入れを行っている。又、実践者研修や管理者研修等で同業者と交流する機会を持ち、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に、本人や家族にホームを見学して戴き、職員や利用者と場の雰囲気に徐々に馴染めるように相談しながら取り組んでいる。又、地域の関係性を活かし、地域の友人や知人がホームに気軽に来訪して戴き、以前の関係が継続出来るように支援している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から地域の習慣や昔の話を教えてもらう場面を作っている。又、食事の準備や後片づけ、テーブル拭き、畑作業、雪かきなどの役割事などの日常の関わりの中で喜怒哀楽を共にし本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式で収集した本人の生活歴や習慣を踏まえ、日常生活の中で表情や会話から利用者の希望や意向を把握し、職員間で情報を共有している。買い物、散歩、入浴、飲み物などに本人が選べる場面を作り、本人本位の生活が実現できるように支援している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに、センター方式で利用者との日常生活の会話や関わりの中で本人、家族から情報を収集して介護計画に反映させている。又、介護支援専門員を中心に各ユニットリーダーが職員全員の意見や希望を取り入れ、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に計画的に見直しが行われている。又、利用者の状態の変化に応じて期間終了前でも見直しが行われており、現状に即した新たな計画を作成している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、通院や買い物、散歩、気晴らしのドライブなどの要望にも柔軟に対応している。又、利用者の外泊や家族の宿泊も可能にしており、なるべく本人や家族の希望が実現できるように支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望を尊重して以前から通院していた医療機関との関係が継続出来るように支援しており、町立病院の看護師とは、いつでも相談できる関係が築かれている。又、受診は、家族が対応しているが、都合が悪い場合や緊急を要する場合はホームで対応し適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、医療機関の医師や看護師と連携を密にして利用者・家族とも早い段階から繰り返し話し合い、職員全員で方針を共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の取り扱いについては、十分に注意して取り扱っている。一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや対応を心掛けており、損ねる場合があった際には対応が適切だったかを職員間で検討している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活歴や習慣を踏まえ、利用者のその日の体調や思いを尊重し、食事の準備や後片付け、雪かきや畑作業などの役割事や散歩や買い物、入浴時間や好みの食事の提供など本人の希望やペースを大切にして支援することを心掛けている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に調理の準備や茶碗拭きなどの後片づけなどを行い、食べ慣れた地元で捕れる魚などの海産物を取り入れ食事が楽しみなものになるように支援している。又、献立は町の保健師にアドバイス貰い、体調や好みに合わせて提供している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	全員が週2回以上入れるように利用者の希望やタイミングに合わせて、ゆっくりと入浴を楽しめるように支援している。又、希望があれば隣接している福祉センターの温泉で入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や習慣を踏まえ、食事の準備、テーブル拭き、食器拭き、洗濯物畳みや掃除、畑作業、雪かきなど本人が自信を持って貰えるように支援している。又、散歩や買い物、ドライブなどの気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	可能な限り外に出る機会を設け、近郊の観光地や町内のドライブなど戸外に出かけられるよう支援している。又、本人の希望や体調に合わせて散歩・買い物・畑作業などを自由に楽しめるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、外出を希望する利用者には常に同行し、職員が見守りや安全面に十分な配慮を心掛け実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム内に町の防災無線が設置され、年に1度、町の避難訓練に参加している。又、防火管理者を設置しており、火災等の緊急時対応マニュアルや緊急連絡網を作成し、年に2回利用者とともに夜間を想定した避難訓練を実施している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分摂取量を記録し、献立もおおまかなカロリーや栄養バランスを把握し、体調の変化に応じて個別に対応している。又、一人ひとりの健康状態に合わせた量やきざみ食やミキサー食など調理の工夫がなされている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の壁には利用者が書いた習字などの作品や行事や日常の様子の写真、花や季節が感じられる行事の飾り付けをして居心地よく過ごせるような工夫をしている。又、調理の音や香りで生活感を感じられるように配慮し、玄関先のプランターに季節感のある花やベンチイスを置いて、外気浴や散歩の後に休憩が出来るように配置している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には自宅で使い慣れた物をなるべく持ち込んで載っている。仏壇や家族の写真を持参されたり、使い慣れたタンスやベットが持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。